

サカゲイノデ *Polystichum retrosopaleaceum* (Kodama) Tagawa  
オシダ科 Dryopteriaceae

1. 利用可能部位：葉柄と中肋

2. 組織形態：

葉柄、中肋とも上部まで鱗片があり、表面は平滑でない。葉柄基部は断面は上面がへこんだ半円形で、上面側に1対の大きなタツノオトシゴ型維管束、その下に環状に5~7本の小維管束が配列する(A)。上方に行くに従って小維管束は互いに癒合して数を減らし、葉柄上部では2本程度となる(B)。葉柄上部では上面中央が狭く深く凹み、2本の太い稜が明瞭になる。表皮と下表皮の細胞は径が小さくて細胞壁が厚く、下表皮は8細胞層近くある(D)。タツノオトシゴ型維管束の外側の位置に通気孔条がある(C)。

3. 利用例：知られていない

4. 遺跡出土遺物：知られていない

図説明

A:葉柄下部の横断面。半円形の上面がへこむ。表皮には鱗片がある。一対のタツノオトシゴ型維管束と環状に並ぶ7本の小維管束があり、右側にある2本は特に細い。B:葉柄上部の横断面。小維管束は2本に減数している。C:葉柄下部の拡大。タツノオトシゴ型維管束の左側方に通気孔条がある。D:下表皮と通気孔条。



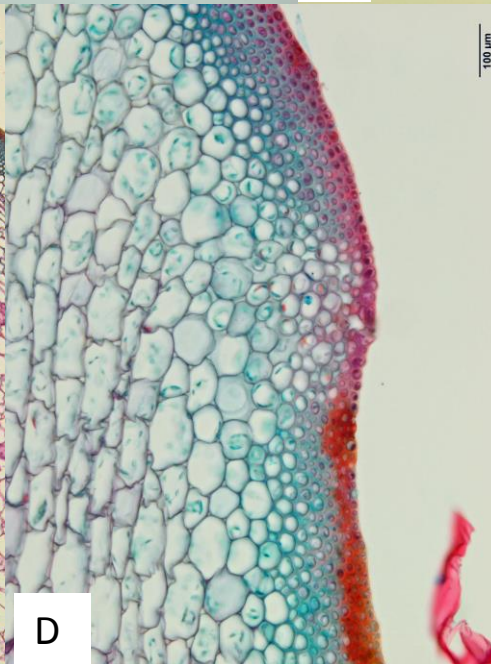
A



B



C



D